

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 28 年度・第 4 回常任理事会 議事録

日時	平成 29 年 1 月 26 日 14:00～17:20	場所	資源・素材学会会議室
----	------------------------------	----	------------

常任 理事会	理事長	京谷 孝史	○	副理事長 (賞選考)	青木 智幸	○	幹事長 (総務)	長田 昌彦	○
	常任理事 (国際技術) (地盤)	鈴木健一郎	○	常任理事 (資源・素材)	村田 澄彦	○	常任理事 (土木)	新 孝一	○
	常任理事 (材料)	岸田 潔	○	常任理事 (前幹事長)	坂口 清敏	×			
	常務理事 (RockNet)	安原 英明	●	常務理事 (編集)	清木 隆文	○	常務理事 (電子 J)	島田 英樹	×
	オブザーバ (元・理事長)	清水 則一	●	事務局長	岡部 進		事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○: 出席, ×: 欠席, ●: スカイプ出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 28-常任 4-01	第 3 回常任理事会(11/17)議事録 (案)
資料 28-常任 4-02	第 5 回理事会 (12/16 〆切書面会議) 議事録 (案)
資料 28-常任 4-03	会員の入退会
資料 28-常任 4-04	H28 年度 編集委員会 事業報告
資料 28-常任 4-05	国際技術委員会報告
資料 28-常任 4-06	賞選考委員会報告
資料 28-常任 4-07	第 14 回岩の力学国内シンポジウム開催報告
資料 28-常任 4-08	第 3 回 岩の力学に関する若手研究者会議報告 岩の力学ニュース
資料 28-常任 4-09	次期理事候補者名簿(20170106)
資料 28-常任 4-10	Nomination for ISRM President 2019-2023 by the ISRM NG of Australia
資料 28-常任 4-11	Potential addition to the name of the ISRM
資料 28-常任 4-12	merged Excerpts Minutes 1989 1997 2003
資料 28-常任 4-13	ISRM By-Law 4 - 20070608
資料 28-常任 4-14	ISRM Newsletter No. 36 - December 2016 + ARMS9 報告
資料 28-常任 4-15	平成 29 年度事業計画案
資料 28-常任 4-16	平成 29 年度委員会申請ベース予算案
資料 28-常任 4-17	国際会議開催計画
資料 28-常任 4-18	nextCloud 説明書

理事長挨拶

【議 題】

1. 第 3 回常任理事会 (11/17) 議事録 (案) の承認 (長田) 資料 28-常任 4-01
原案通り, 承認された。
2. 第 5 回理事会 (12/16 〆切書面会議) 議事録 (案) の確認 (長田) 資料 28-常任 4-02
内容を確認した。特に意見なし。
3. 会員の入退会 (長田) 資料 28-常任 4-03
平成 28 年 11 月 17 日から平成 29 年 1 月 25 日までの入退会状況が示され, これを承認した。なお, 木山英郎先生 (鳥取大学) ご逝去の情報があったので退会の手続きをとることとした。
4. 委員会審議・報告事項 資料 28-常任 4-04
 - 1) 編集委員会 (清木)
資料 28-常任 4-04 に基づき, 活動状況が報告された。特に文献リスト作成については, 収集

範囲に関して議論し、取捨選別による不足が生じないように、またできる限り編集作業が少なく済むような方法とすることとした。

- 2) 国際技術委員会（鈴木） 資料 28-常任 4-05
資料 28-常任 4-05 に基づき、活動状況が報告された。若手技術者の海外活動支援に対する報告書は編集委員会に送付済みであり、次号に掲載予定である。AE の Commission はほぼ完了しており、来年度の予算配分は必要ないことを確認した。試験法の Commission 関係は 3 月に Ulusay 先生が来日される期間を利用して打ち合わせを行うこととした。また Geo-hazard のサブワーキングについては活動継続の方向性を小山先生に確認することとした。
- 3) 電子ジャーナル委員会（島田：代理長田）
「平成 28 年の投稿論文数は、学会賞以外の投稿 1 編を含め 6 編であった」との報告があった。投稿を増やす手立てを議論した。その 1 つとして、岩の力学国内シンポジウムで受賞された論文の著者らに、実行委員会から理事長名で投稿依頼を出してもらうようお願いすることとした。
- 4) Rock Net 委員会（安原）
第 3 回常任理事会（11/17）議事録に記載の内容について、進捗状況が報告された。「賛助会員のページ」の web 公開については、35 団体中 16 団体から返信があり、随時進めている。過去の国内シンポ原稿の web 掲載については、岩の力学ニュース 2 月号と RockNet メールに文書を掲載する準備を進めている。これについては増益のため課金システムの導入の可能性について議論した。資料 28-常任 4-18 を用いてアップグレードするファイルサーバーの説明がなされたが、セキュリティ等に関する情報を確認することとし、継続審議とした。
- 5) 連合会賞選考委員会（青木） 資料 28-常任 4-06
資料 28-常任 4-06 に基づき、今年度の応募状況等が報告された。次回理事会にて規則変更の審議を予定している。また選考に関する課題として、連続応募および推薦方法について議論した。

5. 岩の力学国内シンポジウムの開催報告（岸田） 資料 28-常任 4-07
資料 28-常任 4-07 に基づき、開催報告がなされた。見込み以上の参加者があり、盛況であった。論文集については、インターネット経由でダウンロードする形式としたが、各論文へのアクセスが悪いため、予算内でシステムを構築することを考えている。初めての試みであった「バーチャル技術展示」については、アンケート結果を元に次に繋げたい。反省点としては賛助会員への特典がうまく伝わっていなかったことが挙げられた。

6. 第 3 回岩の力学に関する若手研究者会議の開催報告（安原） 資料 28-常任 4-08
資料 28-常任 4-08 に基づき、開催報告と補助金の使用状況が報告された。来年度も継続しつつ、他国の状況を勘案しつつ、将来的には ISRM の YSRM への申請を考える。

7. 次期体制及び代議員推薦状況の確認（新，長田） 資料 28-常任 4-09
資料 28-常任 4-09 に基づき、現況が報告された。次期理事についてはほぼ確定しつつある状況にある。代議員の推薦状況については各統括理事から進捗状況の報告があった。また執行部の継続性と理事の任期について議論した。次期体制においては半数が留任となっており、継続性について問題ない。理事の任期を 1 年ごとに入れ子にするよりも、現状のように 2 年任期の理事と 2 期担当の理事を入れ子にするほうが現実的である。1 名の理事の任期が異なっている点をどのように解消していくかは継続審議とした。

8. ISRM 関連

- 1) Nomination for ISRM President 2019-2023 by the ISRM NG of Australia（清水） 資料 28-常任 4-10
清水 VP から資料 28-常任 4-10 に基づき、これまでの経緯説明があった。
- 2) Potential addition to the name of the ISRM（清水） 資料 28-常任 4-11～12
ISRM の名称変更に関する意向調査について、資料 28-常任 4-11 に基づき、清水 VP より説明があった。資料 28-常任 4-12 はこれまで審議された名称変更の経緯である。2 月中に日本 NG としての意見を返答する必要がある。常任理事会としては、賛同する方針であるが、2/20 を目処にメールにて意見募集を行うこととした。
- 3) Organization of the ISRM 15th Congress in 2023（清水） 資料 28-常任 4-13
By law No.4(資料 28-常任 4-13)によって募集が行われており、ARMS10 のときに投票が行われる。
- 4) ISRM Newsletter No. 36 - December 2016（長田） 資料 28-常任 4-14
2017 年度の国際会議の日程がまとめられているので、ご参照ください。
- 5) 清水 VP より、17 コミッションの統計結果が報告された。317 名が活動しており、日本は中国、USA、ブラジルに次いで 4 番目に位置しており、貢献していることが示された。
- 6) 清水 VP より、scopes に ARMS8 の投稿論文が収録されており、現在アクセスできることが報

告された。

9. 琉大で開催する国際ワークショップについて（京谷）

1) 連合会からの補助について

2名の講演者に対して、講演謝金と足代として各4万円の補助を出すように進めていることが報告され、これを了承した。

10. ILC 研究企画特別委員会（仮称）の進捗状況（京谷）

口頭にて、進捗状況の報告があった。

11. 平成29年度事業計画・予算案（長田）

1) 社員総会の日時と場所について

6/14(水)と6/16(金)を候補として、地盤工学会地下会議室の予約状況を確認することとした。

2) 平成29年度事業計画案

資料28-常任4-15

各常設委員会から挙げられた平成29年度事業計画案が紹介された。次年度実務のない7(7)の選挙管理委員会の記載は削除することとした。また8については、ILCの特別委員会及び賛助会員特別会議の担当者に記載依頼することとした。

3) 平成29年度委員会申請ベース予算案

資料28-常任4-16

常設委員会の予算案が示された。記載内容を再度確認いただくこととした。

4) 平成30年度動的問題の国際会議関連予算

下記12参照

12. 国際会議開催計画（岸田）

資料28-常任4-17

資料28-常任4-17に基づき、国内で開催する今後10年の国際会議計画について議論した。2024年のARMS13の誘致を検討する。その間2019年のISRM Specialized Symposiumには沖縄で予定されているRockDyn2019を充てるほか、若手会議を絡めることも検討する。若手会議はPacificでハワイ開催も案としては魅力的である。2021年のISRM Specialized Symposiumには火山関係を充てるか、RockStressを充てるかなど複数の選択肢がある。継続審議とする。

RockDyn2019は2019年4月初旬開催で話が進んでいる。この場合、2017年度から準備予算を計上しておく必要がある。アイダン先生に打診することとした。

13. その他

1) 特になし

14. 今後の予定

1) 第4回理事会：平成29年3月16日(木)14:00～17:00

2) 平成29年度第1回常任理事会：平成29年5月 日() : ~ :

3) 平成29年度第1回理事会（書面会議）：平成29年5月頃

以上